

新規事業に関心のある方

参加無料

加速する高齢化と医療ニーズの多様化を背景に、ケア現場は異業種からも注目される成長分野の一方、「現場のことが分からない」といった声も少なくありません。このギャップを解消するために、ケア現場の実情や働く看護師の声を皆様に届けることは「ケアさき」のミッションの一つです。

本セミナーでは、第一線の専門家がケアの最前線に立つ看護師が日々直面している世界についてお話しします。

技術シーズと現場ニーズを結びつける絶好の機会です。セミナー後の交流会では、こうした志を共にする他参加企業とのネットワーク構築も可能です。ぜひご参加ください。

会場参加は
こちらから↓



ウェビナー参加は
こちらから↓



開発担当者に
知って欲しい!!

かわさきケアデザインコンソーシアム 公開セミナー

みんなが
知らない

看護のはなし

2025年

【ウェビナー参加可能】

日程

12月2日(火)

15:00～17:00

会場

K-NIC

Kawasaki-NEDO Innovation Center

ミュージアム川崎セントラルタワー5階

(※JR川崎駅西口からペDESTリアンデッキで直結)

(会場では終了後、交流会あり)

私たちは、どのくらい「看護」のことを知っているでしょうか。

たとえば風邪をひいて病院に行ったとき、看護師さんは医師のそばで一緒に話を聞いていたり、検査の準備を手伝ってくれたりします。そんな姿から「看護師さんの仕事ってこんな感じかな」と捉えている方も多いかと思いますが、実は、その間も看護の目線での情報収集と行うべき対応を判断しています。

今回のセミナーでは、看護師を目指す学生が最初に学ぶ必修科目「看護学概論」をもとに、看護とはどのようなものなのかをあらためて考えます。現場で働く看護師の声も聞きながら、今の看護の姿や課題を多角的に見つめ、看護の世界から社会の新しい価値を生み出すヒントを探ります。

プログラム

- ・ご挨拶：会長 一木 隆範
(東京大学大学院工学系研究科 教授)
- ・講演Ⅰ：
「見えないケア、見つめる心：
看護師の視点から描くヘルスケアの未来」
掛田 崇寛 先生 (川崎市立看護大学 教授)
- ・講演Ⅱ：
「リアルな看護の今とこれから」
八木 美智子 先生 (川崎市看護協会 常務理事)
- ・質疑応答
- ・ケアさき活動紹介：事務局長 白崎 功
- ・ご挨拶：幹事 堀田 彰恵 (川崎市看護協会 会長)
- ＊終了後、交流会の開催を予定しています(1時間程度)。
交流会参加費：¥500- (当日精算)



掛田 崇寛 先生



八木 美智子 先生

かわさきケアデザインコンソーシアム について



「かわさきケアデザインコンソーシアム」(通称：ケアさき)は、文部科学省のCOI-NEXTプログラム川崎拠点の活動から発足

した、医工看連携によるイノベーションを目指す共同体です。高齢化や医療従事者不足等の社会課題解決に向け、川崎市のウェルフェアイノベーション政策や川崎市看護協会との連携を活かし、ケア現場のニーズを製品・サービスとして社会実装することを目的とします。業種を問わずヘルスケア産業への参入を目指す企業に、現場ニーズとのマッチングや実証研究の機会を提供します。

【ホームページ】

<https://change.kawasaki-net.ne.jp/consortium/>

「ケアさき」およびそのロゴは登録商標です

